
LactPren (らくとふれん)

～農業体験・環境教育から学ぶ地域連携～

第1章 プロジェクトの概要など

1. プロジェクトの名称

LactPren とは、「地域の活性化と環境保全」のフランス語訳である、L'activation et la Protection de l'environnement の下線部分(L'act + Pr + en)を用いた造語である。

2. 本プロジェクトの目的

【実践的活動を通じた地域連携】

京都市伏見区深草地域および京都市北区小野郷地域を中心に活動し、学生を主体として、地域の人々や諸団体と連携・協力しながら、環境整備活動や農業体験を通して地域貢献を目指す。

近年の学校教育では、学校・家庭・地域の連携が重要視されているが、地域との関わりの希薄さという点において課題は多い。私たちは、将来教師として地域と連携することを想定しながら、地域において農業体験や環境整備活動等の実践的な活動に取り組み、様々な立場の人々との交流を通して、学校と地域との連携について考察する。

小野郷地域においては、米や野菜を育て収穫するという生産の過程を学ぶと同時に、地域の方々と協力して作り育てることの喜びを体感する。深草地域においては、大岩山の環境整備活動を通して地域連携について考察する。

3. 代表者および構成員

・代表者

弘田 敏基 教育学専攻 3 回生

・構成員

弘田 真基 社会科教育専修 2 回生

天羽 敦子 社会領域専攻 4 回生

片淵 裕紀 社会領域専攻 4 回生

山崎 美紅 社会領域専攻 4 回生

岸田 茉子 国語領域専攻 4 回生

山本 龍也 教育学専攻 4 回生

植原 莉子 社会領域専攻 3 回生

高橋 善希 教育学専攻 3 回生

川島 結衣 教育学専攻 3 回生

釜本 樹 社会領域専攻 3 回生

友末 里沙 社会領域専攻 3 回生

青木 光太郎 社会領域専攻 2 回生

梅田 ちひろ 社会領域専攻 2 回生

大橋 優介 社会領域専攻 2 回生

川口 智也 社会領域専攻 2 回生

木本 玲央 社会領域専攻 2 回生

下西 紀輝 社会領域専攻 2 回生

中井 諒 社会領域専攻 2 回生

4. 助言教員

石川 誠 先生 (社会科学科)

5. その他

・協力団体

元 NPO 法人 京都北山悠悠自然塾

NPO 法人 深草ふれあい隊 竹と緑

京都市伏見区深草支所

第2章 内容や実施経過など

1. 活動地域についての概要

(1)京都市北区小野郷

小野郷は、京都駅からバスで1時間程度の距離でありながら、山間部を流れる清流や美しく整備された北山杉や季節によって様々な様子を見せる森林などが生い茂る森林、澄んだ空気という魅力的な環境をもつ地域である。小野郷地域と大森地域から構成され、農林業については大森地域で、朝市については小野郷地域で行う。

現在、小野郷は高齢化や若年層の人口流出、それに伴う山野の荒廃や休耕地の増加などの問題を抱えている。平成30年12月1日現在の世帯数は115、人口は211人(男性98人、女性113人)で、人口はこの20年間でほぼ半減している。

京都市立小野郷小・中学校は平成 19 年より閉校となり、近隣の小・中学生は約 11km 離れた京都市立高雄小・中学校(右京区)に通っている。

活動にご協力いただいている NPO 法人京都・北山悠悠自然塾では、休耕地を活用した農業体験学習や林業体験学習、朝市での物産販売などを行い、世代や地域の枠を超えた交流を図っている。

平成 22 年度より LactPren が「e-Project @kyokyo」に応募し、農業体験を通して地域の活性化や地域の人々との関わりについて考える活動を行ってきた。今年度も小野郷地域で農業体験や林業体験を通じた地域連携に目を向けた活動を行った。

(2)京都市伏見区深草

本学の東に、大岩山(標高 182m)が伏見区と山科区にまたがり位置する。以前から産業廃棄物をはじめとする不法投棄が問題となっていたが、平成 20 年度に伏見区役所深草支所、NPO、大学生、地域住民等が協力し、廃棄物の回収を行った。

平成 21 年には、深草の大岩山周辺地域を二度とごみ山に戻さないとの決意から、地域住民や大学等教育機関、NPO 法人、農協、関係機関等で「ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会」が設立され、深草トレイルの開設や大岩山展望所の設置、継続した一斉清掃や竹林整備等の取り組みを行っており、本プロジェクト所属の学生数名も、学生委員として参加している。

2. 活動内容および実施経過

(1)種まき

日時：平成 31 年 4 月 14 日

参加場所：京都市北区大森

元 NPO の方々にレクチャーを受け、機械を使って土ともち米の種をまき、育苗機へと入れた。

(2)苗だし

日時：平成 31 年 4 月 21 日

参加場所：京都市北区大森

前回の種まき後、育苗機で育てた苗を外に出し、日光に当てて育てることができるように準備をした。



(3)サツマイモの苗植え

日時：令和元年 5 月 19 日

参加場所：京都市北区大森

藤陵祭で販売するサツマイモ(安納芋)の苗植えを行った。

堆肥を撒いた後、耕運機で耕し、鋤を使って畝を造り、苗を植え、水を撒いた。耕運機の使い方も元 NPO の方から再度教えてもらった。今年度も畑を 2 か所使って育てた。



(4)夏季合宿研修

日時：平成 30 年 8 月 27・28 日

参加場所：京都市北区小野郷・大森

元 NPO 協力の下、藤陵祭で販売する野菜の種(大根・白菜)を植えるとともに、地域交流を深めた。昨年度と同様に、現在休校となっている京都市立小野郷小中学校に宿泊した。

休耕地に堆肥を撒き、耕運機で耕し、畝を作り、種を播き、マルチシートを被せる一連の作業を NPO の方々に指導していただきながら、学生が主体的に行った。



(5)芋掘り

日時：令和元年 10 月 20 日

参加場所：京都市北区大森

5 月に植えたサツマイモを収穫した。収穫したサツマイモは天日に晒し、11 月に藤陵祭で販売する。なお、サツマイモは天日に晒すことで甘みが増す。



(6)野菜の収穫

日時：令和元年 11 月 6 日

参加場所：京都市北区大森

夏季研修合宿で種を播いた野菜を収穫した。大根は、左下図の洗浄機を用いて、川からホースで引いた水を使って洗浄した。

また、白菜は鎌や包丁を用いて収穫し、不要な葉は取り除いた。



(8)藤陵祭

日時：令和元 11 月 8・9・10 日

参加場所：本学

小野郷で栽培した野菜とそれらを使った大根煮、スイートポテト、焼き芋を販売するとともに、パワーポイントで小野郷や深草での活動の PR を行った。

本年度は、例年に比べて野菜の売れ残りが多く、収穫量や販売の価格設定の難しさを感じた。



(9)大岩クリーンアップ大作戦!!2019

日時：令和元年 11 月 30 日

参加場所：京都市伏見区大岩地域、鎮守池

深草支所まちづくり推進担当の方や龍谷大学 京都工学院高校、地域住民の方などと深草トレイル及び大岩街道周辺地域の大規模な清掃活動を行った。



第3章 結果や成果など

1. 京都市北区小野郷での活動について

昨年度に引き続き、サツマイモの苗植え、夏季合宿研修、野菜の収穫、と農業の体験を中心に活動を行った。耕運機やトラクター等を使用する機会は、普段の生活では得難いものである。社会科では、産業についての学習で、農業や林業を扱う。卒業後には、教科書の知識を教えるだけでなく、本プロジェクトで得た体験を授業に取り入れ、児童生徒の豊かな学びにつなげたい。

藤陵祭では、毎年開催を楽しみに来て下さる方々が年々増え、NPO と我々の活動が少しずつ知られていることを実感することができた。一方で、どのくらいの人に来て、購入して下さるのかの予測を立て、準備する量を調節することやその準備にかかわる人数を十分に確保することといった販売者としての難しさも実感した。小野郷で農業を経験しながら、地域の人々と連携し、地域の在り方を考える時間は、メンバーにとってかけがいのない、大変価値のあるものであった。

